

安定性が違う！初期投資がいらない！

10分で
わかる！

はじめての 太陽光発電投資

～2022年度改正FIT制度の影響は？～



 **リンクス**

presents

2022年(令和4年)5月発行

1分

リンクス
presents

ご存知ですか？

～太陽光発電投資の特長①～

**太陽光発電投資は 20 年間、
毎月ずっと同じ単価で発電全量を
電力会社が買い取ります = FIT法。**

(ただし2019年度までのFIT認定物件)

投資商品には必ず、リスクとリターンがあります。ところが太陽光発電投資は発電さえしていれば安定した収入が得られます。なぜか。太陽光発電投資は、投資商品であるにも関わらず20年という長期に渡り買取を国が保証する固定価格買取制度（FIT）が人気を支えています。2012年度にこの制度が施行されて以来、投資に適した条件を持つ低圧（10kW～50kW契約）太陽光発電が投資家の間で「ほぼリスクなし」商品として知られています。FIT期間の間に初期投資を回収し、回収後の売電収入はほとんどが手元に残るので、「太陽光発電投資にかかる初期費用はゼロ」という考え方もできます。

**投資商品ではありますが
FIT制度で国が保証します。**

2分

リンクス
presents

ご存知ですか？

～太陽光発電投資の特長②～

太陽光発電投資は、
「空室のないマンション」と
呼ばれることもあります。

太陽光発電投資は、俗に「空室のないマンション」と呼ばれたりもします。不労所得として誰もが考えがちな不動産投資にもリスクがあります。その代表が‘空室リスク’です。好立地であること、管理会社をしっかりと選ぶこと。この2点が回避策と言えますが、なかなか簡単ではありません。他にも、家賃下落、家賃滞納、修繕、地震、火災、倒産、不動産価値下落などのリスクがあります。太陽光発電投資は、FIT制度のおかげで、空室、家賃下落・滞納、価値下落などのリスクとは無縁と言えます。20年間という長期にわたる安定性という点では他の投資商品の追随を許しません。

太陽がなくなる…
その心配は不要です。

3分

リンクス
presents

ご存知ですか？

～太陽光発電投資の特長③～
発電プラントオーナー。
特になにもすることは
ありませんが。

太陽光発電投資は、日光があたっている状態＝発電中です。ほかに燃料代はまったく必要ありません。太陽光パネル、パワコン、雑草の処理…もちろん、常時きちんと発電するための管理は必要ですが、急な出費というのはほとんどなくランニングコストとしては極めて低い経費で稼働できるので収支の安定という面ではバツグンです。比較をすると、他のどんな投資商品より平均値として「安定した高利回り」が実現できるのは、メンテナンスにそれほど手間がかからないという特長に依るところも大きいと言えます。すなわち遠方の物件でも気にする事なく投資対象として考えやすいというわけです。

日本のどこにいても、
どこのものでも。

4分

バンク
presents

ご存知ですか？

～太陽光発電投資の特長④～

事業計画を立てやすいから
融資を受けやすい。
フルローンがむしろ主流！

太陽光発電投資は、ほかの投資と異なり、国の政策として発電した電気の買取を保証されているため、金融機関にとっても融資先として好評であることが一般的です。自己資金がない方や土地がない方でもファンドやフルローンを組むことが可能で、実際に太陽光発電のプラントオーナーになられた方の多くは、‘手出しゼロ’で始められています。オーナー経験を長く積まれている方は「追加で2基」「法人名義で3基」など、収支計画や融資対策の相談に問合せられる方も珍しくはありません。注意が必要なのは、複数の発電所のオーナーになると、むしろ節税対策が必要となることです。

回収が確実だから、
‘手出しゼロ’も可能。

5分

リンクス
presents

ご存知ですか？

～太陽光発電投資の特長⑤～

設備設置にかかった
消費税が全額戻ってくる！

太陽光発電投資は、もともと消費税がない土地以外の設備にかかった費用の消費税分が、翌年の確定申告で全額還付されます。例えば特に個人事業を行なっていなかったと仮定すると、今年2,000万円の太陽光発電設備を取得した場合、200万円の消費税を払いますが今年の12月末日までに税務署へ「消費税課税事業者選択届出書」を提出すると、来年の申告期限までに消費税の申告をすることで還付を受けることができます。ただし課税事業者を選択すると3年間の消費税支払義務があるので、来年から3年間は売電収入に対する消費税を支払うことになるので、注意が必要です。

……………なんにせよ、
「消費税還付」は魅力。

6分

リンクス
presents

ご存知ですか？

～太陽光発電投資の特長⑥～
年収が400万円台でも
融資が通れば
プラントオーナー。

一般的には、年収400万円程度のサラリーマンが1,000万円以上の不動産を購入するのはかなり大変なことだと思います。融資も受けられず、「投資をしたいのにできない…」という方も多いと思います。しかし太陽光発電投資であれば年収400万円のサラリーマンでも融資を受けて発電所を購入することができ、頭金ゼロ円で投資を始めることが可能なのです！つまり初期費用はゼロ円なのに、利益はプラスになるということ！しかも太陽光発電投資は、副業が禁止されている公務員の方でもできる投資方法なんです。手続きをして承認を得られれば、誰でもプラントオーナーになれます。

サラリーマンだって、
プラントオーナーに。

7分

ワークス
presents

ご存知ですか？

～太陽光発電投資の特長⑦～

「ほぼゼロ」と言っても
やっぱり投資。

リスクはしっかり把握しましょう。

太陽光発電投資は、太陽が出ている限り発電できますが、逆に言えば‘太陽が出なければ発電しない’、つまり収益が上がりません。日没時間は予想できますが、天候の変化は人の力ではコントロールできません。太陽光発電の設備が影響を受けるのは、地震と津波、そして大雪です。太陽光発電の設備は雨に降られるのは大丈夫ですが、浸水してしまうと壊れてしまいます。ごく稀に強風に飛ばされ近隣に被害を与えることもあります。台風は毎年のことですが、影響はほんの数日のこと。とはいえ、心配なら保険に入っておくことを検討した方がよいでしょう。

施工実績と経験は、
しっかりチェックを。

8分

バンク
presents

ご存知ですか？

～太陽光発電投資の誤解～

**FIT 期間が終わったら
売電できなくなる…
というのは間違いです。**

太陽光発電投資を投資商品として支えている 20 年間の固定価格買取制度。この期間が終わると「売電できなくなる」「使えなくなる」と思われている方もいらっしゃいます。そんなことはありません。太陽光発電の寿命は 30 年程度です。（発電所によっては 30 年以上も稼働している発電所もあるので 30 年以上は発電できると思ってもいいでしょう）そのため、FIT 制度の適応期間が終了しても発電することができ、FIT 価格よりも買取価格は安くなりますが、電力会社に売ることもできます。その頃には 2016 年に施行された電力小売の全面自由化により売電先は増えているかもしれません。

**発電し続ける限り、
売ることにも使うことにも。**

9分

リンクス
presents

ご存知ですか？

～2022年改正 FIT 制度の施行①～

**認定取り消しも！もう今後、
FIT 認定低圧太陽光発電は
増えない！**

太陽光発電投資はFIT 制度という、20年間に渡り発電した全量を電力会社が買取る制度があることが人気を支えています。2020年度の制度改正で、フルローンを組みやすい価格帯=低圧太陽光発電のFIT 制度認定のハードルが引き上げられ、今後は、投資商品としては成立しないと思われます。2022年4月に施行された改正法では開発未着手の認定に関して取り消される条件も運用が始まりました。すでにFIT 認定を受けた低圧太陽光発電は年を追うごとに確実に少なくなっていくので、検討・相談は‘早め’がオススメです。

**FIT 認定物件の争奪
戦は始まっています。**

10分

バンク
presents

ご存知ですか？

～2022年改正FIT制度施行③～

**FIT制度20年間のうち
最後の10年間は
「廃棄費用の積立」義務化！**

2020年のFIT改正で、これまで‘努力義務’だった「廃棄費用の積立」が完全に義務化されることになりました。対象は2012年度FIT認定物件まで遡る予定なので、すべてのFIT認定太陽光発電所が対象となります。制度の詳細は、現在未定ですが、この改正は収支計画に大きな影響を与えます。20年間の安定収入という点は変わりませんが、収支や利回りにはこれまでよりもさらに綿密なシミュレーションをもとにした計画の策定が必要となります。ひょっとすると投資の意図や目的を踏まえ、太陽光発電所だけでなく様々な投資商品を含めて、しっかりと相談できる‘相手’を見極めましょう。

**投資商品に詳しい
「相棒」を見極めよう。**